

2023年

3月号

大野城市
北コミ

そら 宙まどか通信

vol.72

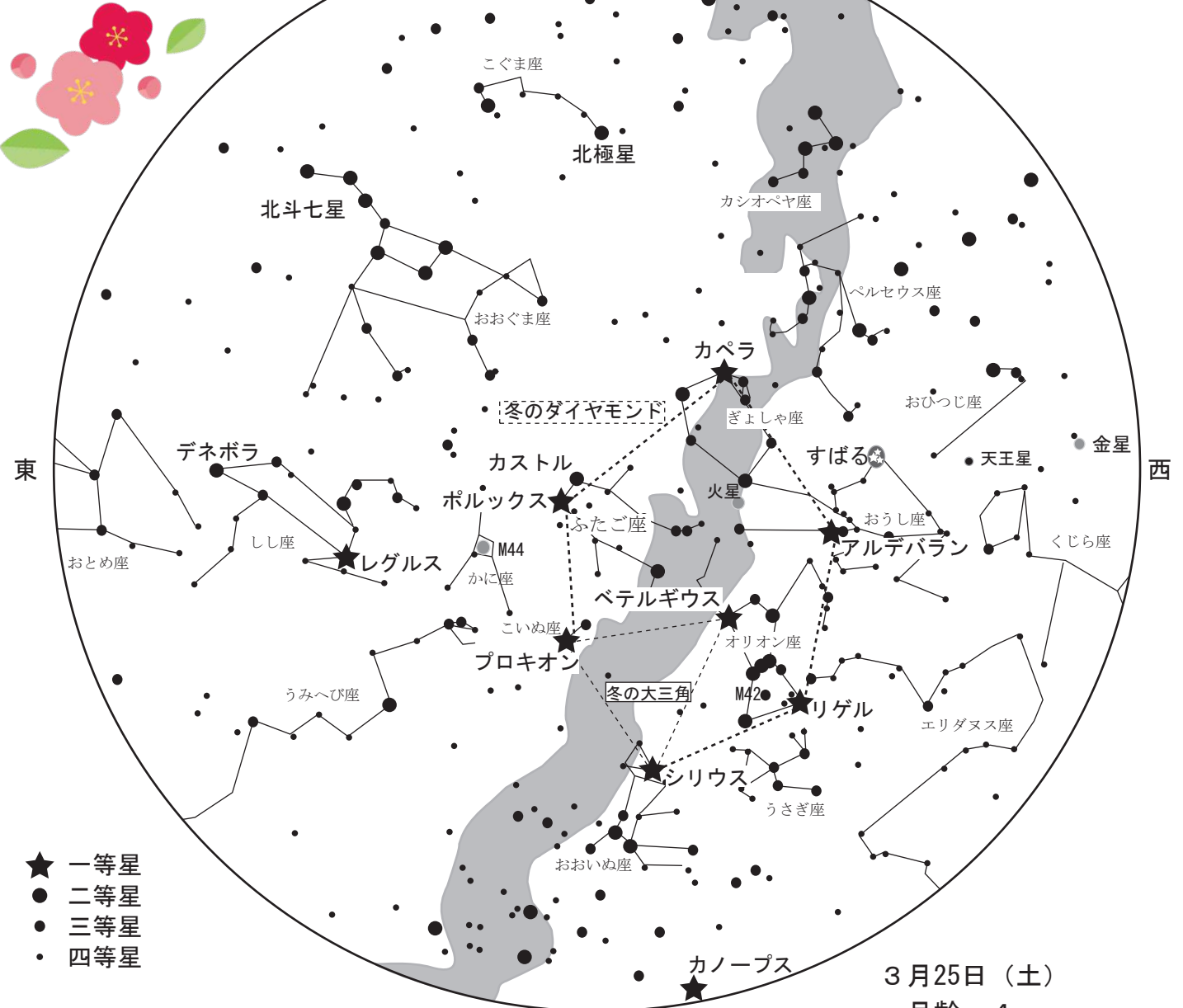
空を見上げて、
どの星座の星が輝いているのか
探してみよう。

3月11日（土）

月齢：19

月の出：午後9時59分

月の入：午前8時25分



- ★ 一等星
- 二等星
- 三等星
- 四等星

3月
1日 午後9時の星図
15日 午後8時の星図

3月25日（土）

月齢：4

月の出：午前8時15分

月の入：午後10時28分

大野城市 北コミュニティセンター

〒816-0912 福岡県大野城市御笠川一丁目17-1

TEL: 092-513-0099

FAX: 092-504-5102

休館日：毎月第3火曜日（休館日が祝日の場合はその翌日）
年末年始（12月28日から翌年1月4日まで）

開館時間：午前9時～午後9時（天文台の開館時間は裏面）

3月天文カレンダー

- 2日 (木) 金星と木星が最接近
- 4日 (土) 月の距離が遠い (40万5889km)
- 6日 (月) 啓蟄 (太陽黄経345°)
- 7日 (火) 満月 ○ (ワームムーン)
- 15日 (水) 火星が東距
下弦の月 ●
- 16日 (木) 海王星が合
- 17日 (金) 水星が外合
- 20日 (月) 月の距離が近い (36万2696km)
- 21日 (火) 春分の日
春分 (太陽黄経0°)
- 22日 (水) 新月 ●
- 23日 (木) 月と木星が接近
木星食 (南太平洋)
- 24日 (金) 月と金星が最接近
金星食 (沖縄以南)
- 26日 (日) 月とすばるが接近
- 29日 (水) 月と火星が最接近
上弦の月 ●
- 月面Xが見える (午後2時30分ごろ)
- 31日 (金) 月の距離が遠い (40万4919km)

今月のイベント

3月11日 (土)
午後7時～午後8時50分



「宇宙のくもを見よう」

宇宙に浮かんでいる雲のような天体を望遠鏡で観測しよう。
写真との違いを見つけられるかな。

3月25日 (土)
午後7時～午後8時50分



「金星と月」

明るい金星と月が西の空で目立ちます。望遠鏡や双眼鏡で色や形を観測しよう。早い時間なら青空の中で輝く金星が見えます。

スタードームまどかTwitter→
<https://twitter.com/StarDomeMADOKA>



←北コミュニティセンターホームページ
<http://onojo-com.info/kita/>

スタードームまどかFacebook→
<https://www.facebook.com/StarDomeMADOKA/>

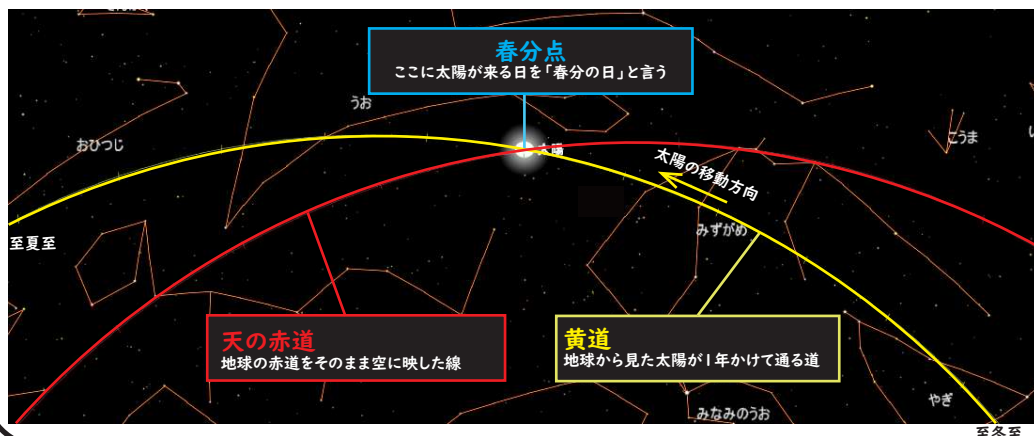


～7千天文情報～

「春分と季節」

春分は太陽年(1年)を24等分した二十四節気の中のひとつです。冬至から夏至に向かう途中、地球の赤道を空に映した「天の赤道」と太陽の通り道「黄道」がちょうど交差した日を春分(春分日)といいます。天文学では、太陽がちょうどこの交差点に到達した瞬間のことを言い、ここを春分点(太陽黄経0°)とします。(下図参照。天文カレンダーの太陽黄経もチェック)太陽が真東から昇って真西に沈み、昼と夜の長さがほぼ同じになる日(日本では昼の方が約14分長い)で、この日から夏至まで昼がだんだん長くなっていきます。

二十四節気は古代中国で、実際の季節とは無関係に春夏秋冬を4つに区分するカレンダーのようなものとして考案されました。そのため、まだ寒い2月4日ごろが春の始まり「立春」となり、春分(3月下旬)、夏至(6月下旬)、秋分(9月下旬)、冬至(12月下旬)と実際の季節とは少しずれています。ちなみに、古代中国の影響を受けていないヨーロッパでは立春ごろではなく春分を春の始まりの日としています。



現在の春分点はうお座にあり、少しづつみずがめ座の方へ移動している。

天の赤道と黄道が最も離れたところを夏至(黄道が上に最も離れる)冬至(黄道が下に最も離れる)という。

なお、春分点の反対側には秋分点がある。

図：春分点とまわりの星座